

平成17年度東北海区海況予報 第2号

平成17年6月14日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2005年7月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(35°30'N~36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
- (3)釧路沖の暖水塊はほぼ停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(38°30'N~39°30'N)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°30'E付近まで)で推移する。

〈海況の経過(2005年2月~2005年5月)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(35°20'N)~平年並(36°N)で推移した。
- (2)釧路沖では暖水塊が停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月にやや南偏、3~4月には北偏していたが、5月には平年並(39°40'N)であった。また、三陸沿岸に冷水域が見られた。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、2~4月は強勢~やや強勢(143°10'E~142°20'E)であったが、5月には平年並になった。
- (5)表面水温は、2月に常磐沖で1°以上低め、また4月以降は釧路沖まで負偏差領域が広がった。

〈現況(2005年5月下旬~2005年6月上旬)の特徴〉

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°N)。
- (2)暖水塊が釧路南東沖約300kmにある。
- (3)常磐沖約450kmに孤立した暖水塊がある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並である(39°N)。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°20'E)*。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による